

令和6年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27509
学校名：新陵小学校

	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈 反復横跳び 50m走 ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 握力 上体起こし 20mシャトルラン 立ち幅跳び	・昨年度と比較し、A評価が減少し、D、E評価が増加し、低下したと考えられる。今後も、疾走能力に重点を置いて、授業改善や、環境作りが求められる。
体力・運動能力 ＜女子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈 反復横跳び 20mシャトルラン ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 立ち幅跳び 上体起こし 握力	・A評価の児童が13%と増加し、昨年度、多かったC評価の児童が27%と減少した。D、E評価の児童が昨年度よりも増えている。運動が苦手な子が体を動かす環境づくりが必要である。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R4 男子：82.4% 女子：57.3% R5 男子：60% 女子70%	・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 R4 男子：0% 女子：4.8% R5 男子3% 女子11%	・今年度は、女子の運動意識の数値が高まった。しかし、授業以外で運動しない児童は増えていることから、休み時間の充実が求められている

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

具体的な取組

- ◇運動意欲や運動能力向上が図れるように、運動が苦手な児童が達成感を感じられるような指導を行う。
- ◇授業開始時の準備運動で「コーディネーショントレーニング」を導入し、子どもたちの潜在的な能力を引き出す。
- ◇運動会を競争ではなく、自己目標の達成を目指して練習した成果を発表する場として位置付けることで、運動能力に関わらず、どの子どもも達成感を得られるようにする。
- ◇ICTを効果的に活用した体育学習に取り組む。

- ◇休み時間の体育館遊びや外遊びを奨励していく。（一日一遊び）
- ◇子どもたちが、「遊びたい。」「体を動かしたい」と思えるような、環境作りを行う。
- ◇マットウイークや跳び箱ウイークなど運動に親しめる場の設定を継続する。
- ◇冬期間も体を動かす場を確保するための雪山の有効活用を図る。中休みに登り綱や縄跳び運動等に取り組む「わくわく中休み」を設定し、子どもが楽しみながら運動できる場を充実させる。

- ◇体力テストを行う際に、昨年度の記録を伝え、今年度の目標を決め、シートに記入することで意欲的に運動に取り組めるようにする。
- ◇体育発表会や、体力テストに向けて、自己の課題を解決する場を校内に設けることで、いつでも挑戦出来る環境をつくる。
- ◇児童アンケートを活用し、児童の思いに寄り添った環境作りを行う。

家庭・地域との連携・協働

- ◇保健や家庭科、特別活動で自分たちの生活を見直すとともに、家庭・地域へ学校便り、ホームページ等を通して情報発信し、望ましい生活習慣の定着を図る。